

明治3年 日本初 技術学校「覺舎」の設立

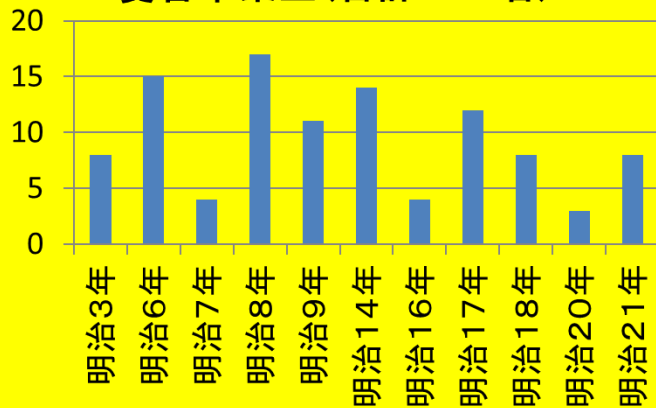


明治3年横須賀製鉄所は日本初の技術学校「覺舎」を設立します。

当初は製鉄所雇のフランス人の余暇をもってフランス語、算術、図学を学習したにすぎませんでした。

明治9年の教科内容「幾何学・微分積分、製図、造船、蒸気機械、砲術等」17科目、履修期間は3年と充実していきます。

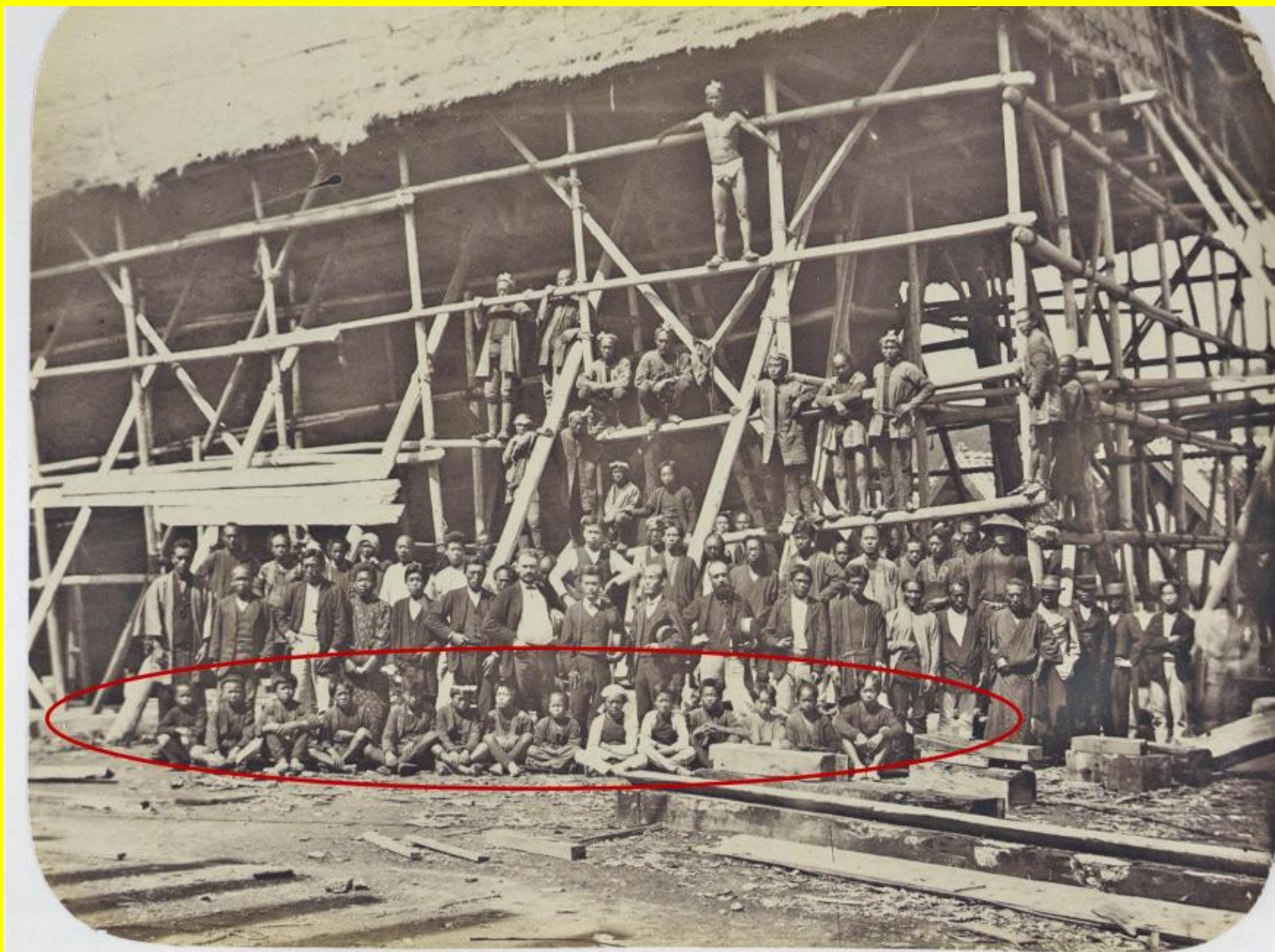
覺舎卒業生(合計104名)



明治15年以降造船官は東大の前身である工部大学校に吸収

明治21年その役目を海軍造船工学校に移管されていきます。

10歳代前半から見習いで働き始め、覺舎受験資格を得た



建造中の船の前に並ぶフランス人、および日本人従業員 (GB) 1873年頃

覺舎におけるカリキュラムです。 まさに今の理系大学教育そのものでした。

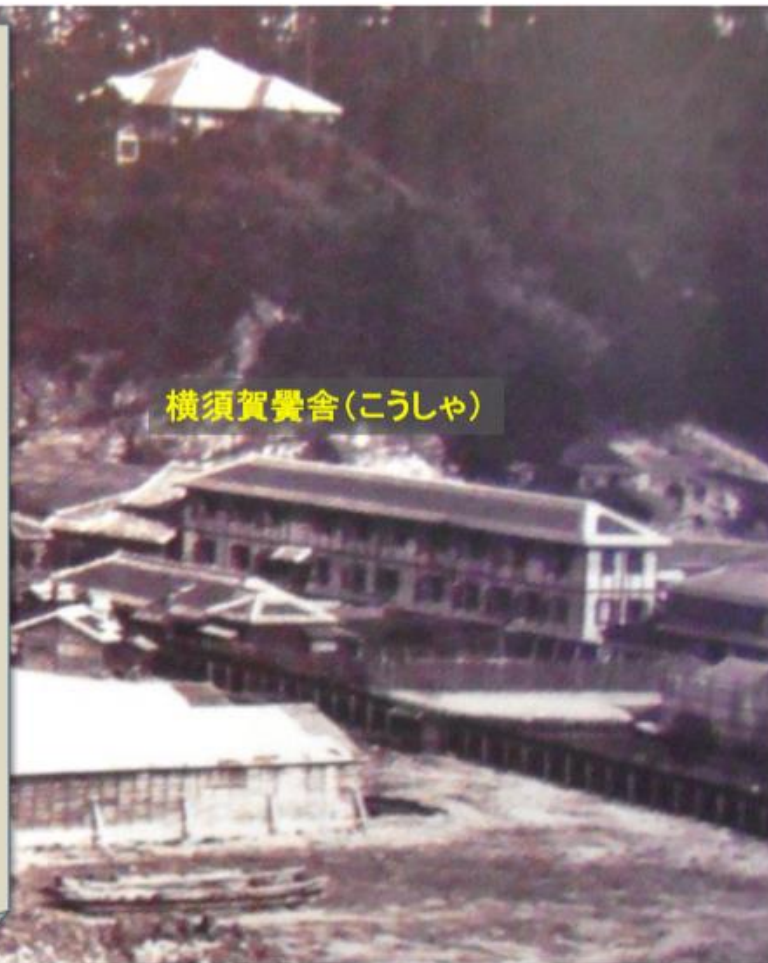
予科

- ・語学(仏語、和漢学、翻訳学)
- ・数学(代数、幾何、算学、三角術)
- ・地理学(万国、日本)
- ・物理学
- ・化学
- ・図学
- ・造船学
- ・機械学

本科

- ・数学(幾何、微積分)
- ・製図
- ・物理学(推理重学)
- ・材料学(物質組成学、物品抗耐学)
- ・土木工学(築造学)
- ・造船学(造船学、造船実訣、造船実考課)
- ・機械工学(蒸気機械学、蒸気機械考課)
- ・艦砲学
- ・博物学
- ・工場執業

横須賀覺舎(こうしゃ)



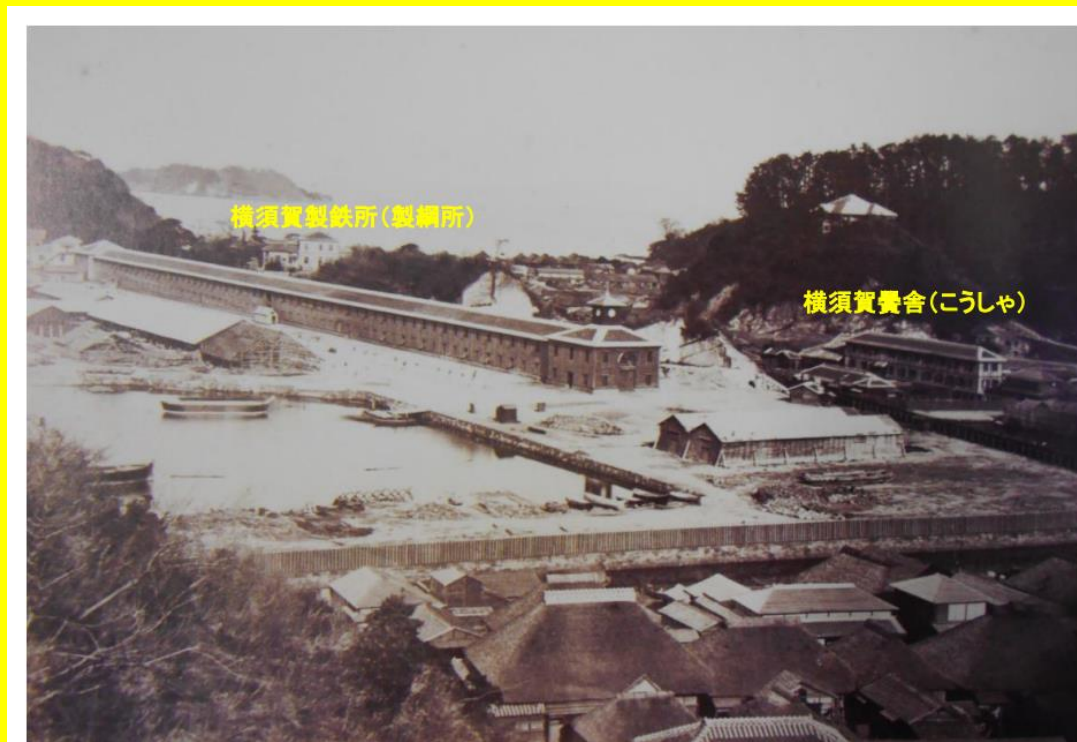
覺舎はどのあたりにあったのでしょうか？



初期の覺舎 教会が使われた

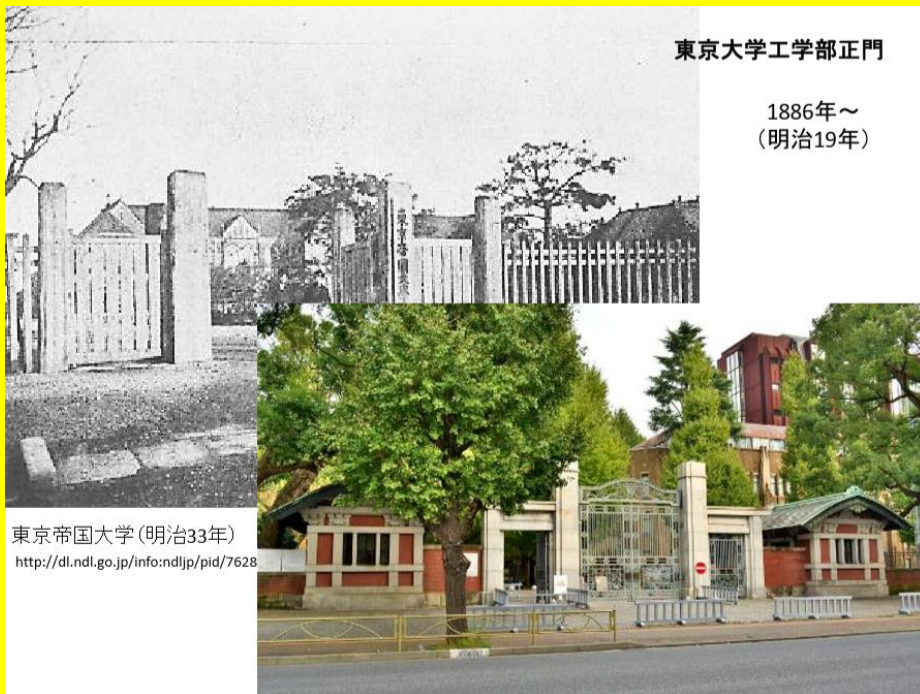
初期の覺舎は製鉄所正門付近（現在の米海軍正門付近）にありました。

その後現在の芸術劇場あたりに移転したと思われます。



後期の覺舎 この敷地は現在、芸術劇場

「饗舎」での造船官はその後東京帝国大学工学部へ
造船工は工機学校(横須賀)へと受け継がれていきます。



東京帝国大学工学部

工機学校校舎と記念艦三笠

